

洋書輸入協会会報

VOL. 23
NO. 3

(通巻263号) 1989年 3 月

理事会報告

1月26日(木)

(一) 11月分および12月分収支計算・予算対比表

総務委員会における審査の結果にもとづく松井幸雄氏(丸善)の報告を承認した。

こんご年号表記には西暦を原則とすることとした。

(二) 消費税

松井幸雄氏および柴田事務局長が公正取引委員会を訪問し、消費税の転嫁および表示の方法の決定に係る共同行為の実施の届出書式その他について相談したことが報告された。

消費税特別委員会の構成はつぎの十社および事務局と決定し、なるべく早く第一回委員会を開催して、実施届出書の内容、PRの方法などについて検討することとなった。

丸善(四名)、紀伊國屋書店(二名)、第一出版貿易、北尾書籍貿易、国際書房、極東書店、緑書房、南江堂、日本出版貿易、洋販(以上各一名)

なお決定されたことはなるべく早く「会報」に発表することとなった。

(三) その他。

2月14日(火)

(一) 1月分収支計算・予算対比表

2月10日の総務委員会での審査にもとづく報告を承認した。

(二) 消費税

2月3日、7日および13日に開催された消費税特別委員会で討議された消費税の転嫁および表示方法の共同行為について、届出の日程、内容、通知方法等の中間報告があり、理事会としても意見を交わして検討した。

次回特別委員会は2月16日にひらかれるが、次回理事会を2月27日(月)3時からひらき、翌28日の臨時総会に臨むこととなった。

(三) その他。

お知らせ

下記のとおり住所表示が変更になりました。

正会員

(株)旭屋書店

〒531 大阪市北区豊崎3-17-9 旭ビル

Tel. (06) 372-7251

ブックマン(株)

〒531 大阪市北区豊崎3-1-18 淀川ビル

Tel. (06) 371-4164

(株)独亜書院

〒531 大阪市北区中津6-8-33

Tel. (06) 452-1825

理事会報告……………	1	1988（昭和63）年 1～12月	海外ニュース……………	7	
お知らせ……………	1	洋書輸入通関統計とその分析…	2	広 告……………	8

1988（昭和63）年1～12月、洋書輸入通関統計とその分析

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

大蔵省関税局から、1988（昭和63）年、1～12月の日本貿易統計の輸入品別・国別表が発表されたので、洋書関係の数字をピックアップして若干の分析を試みたい。

1. CCCNよりHCへの変更

周知の通り、1988年1月より、'87年まで使用されていた関税協力理事会品目表（Customs Cooperation Council Nomenclature略称CCCN）に替えて、新たにHS条約による品目表（Harmonized Commodity Description and Coding System略称HS）が導入された。

（注）s62.12.23付JBIA No. 513「輸出入品目番号の改正について」及びs63.1.18付JBIA No. 515「輸出入品目番号の改正について」参照。

今回の変更の最大の眼目は「貿易関係商品分類の国際的統一を図ること」にあり、そのために合理的な改善もあれば、日本の商習慣にそぐわない変更もある。書籍・雑誌その他の関連商品に関する主な変更点を挙げれば、次の通り。

- (1) 印刷した書籍は、従来一つの分類にまとまっていたが、今回より「単一シートのもの、辞典及び事典、その他のもの」の3分類となった。
- (2) 新聞、雑誌その他の定期刊行物は、従来新聞と、雑誌その他の定期刊行物の二つの分類となっていたが、今回より「一週に4回以上発行するもの」と、「新聞」と、「雑誌その他の定期刊行物」との3分類となった。

この「一週に4回以上発行するもの」の分類は、今回新設されたものであるが、新聞ではなく1週4回以上発行のものは、日本にはあまり多くなく、日本からの輸出（輸出にもこの品目が今回新設された）は年間2,000万円しかない。しかし外国には多く、（表2）に見られるように年間33.6億円も輸入されている。しかしこの分類は従来「新聞」として計上されていたものの大部分と、雑誌その他の定期刊行物として計上されているものの一部分とから成立している。そのために新聞・雑誌が不可分のものとなり、前年比を算出する際には過去にさかのぼって従来の雑誌と新聞との合計額を算出し直さなければならなかった。

(3) 洋書関連商品も、それぞれに変更が加えられているので、その統計表の（注）に説明を付けておいた。

(4) マイクロフィルム、磁気テープなど、従来他の大きな分類の中に含まれていたものが独立して、新たな分類を形成した。

(5) 数量単位について

書籍、新聞・雑誌のうち、書籍の分類の中の97%を占める「その他のもの」、即ちいわゆる普通の本の数量単位が、従来のNO（冊数）からKG（キログラム）表示へと変更になった。もともと書籍の中には、高価な古書や、廉価な文庫本、製本されたバックナンバーなども含むため通関統計上の冊数は実用的にはあまり役に立たないものであった。それがKG表示となると、運送上以外にはほとんど意味がない。また雑誌だけの場合はNOの意味もないでもないが、新聞と週4回以上が含まると、これもほとんど実用上の意味がなくなる。従って、今回から通関統計上の数量と、これを用いた単価計算の表示は中止することとしたい。

(6) 輸出について

輸出統計においても、書籍、新聞・雑誌の分類が輸入と同様に変更されている。

2 1988年1～12月、書籍・雑誌の輸入通関統計表

（表1）

書 籍

（単位 百万円）

品 名	価 額	前 年 比	構 成 比
単一シートのもの	324	% 新設	% 1
辞 典 及 び 事 典	427	新設	2
そ の 他 の も の	22,392	新設	97
計	23,143	108	100

（注1）書籍とは「印刷した書籍、小冊子、リーフレットその他これらに類する印刷物（単一シートのものであるかないかを問わない）」を対象する。

（注2）単一シートのは、折り畳みであるかないかを問わない。この分類は新設のもの。

(注3) 辞典及び事典は、シリーズの形式で発行するものを含む。この分類は新設のもの。

(表2) 新聞・雑誌その他の定期刊行物

(単位 百万円)

品名	価額	前年比	構成比
一週に4回以上発行するもの	3,356	% 新設	% 25
新聞	29	8	0
雑誌その他の定期刊行物	10,206	85	75
計(注4)	13,591	110	100

(注1) 新聞・雑誌その他の定期刊行物は、挿絵を有するか有しないか、又は広告を含んでいるかいないかを問わない。

(注2) 「一週に4回以上発行するもの」の分類は、新設のもの。新聞ではない。

[分析]

新聞は、'87は3.86億円であったものが、今回は92.4%ダウンの僅か2,900万円に縮小している。従来の「新聞」として計上されていたものの大部分が「一週に4回以上発行するもの」で「新聞」ではないものに廻ったこととなる。

また雑誌その他の定期刊行物も前年比15%減、即ち17,46億円が減少している。この部分も「一週4回以上」に廻っているであろう。

'88が、新聞・雑誌計で10%アップということは、妄妄な上昇だと思われるが、内容的には「週4回以上」の新設部分が、33.56億円と、従来の新聞と雑誌の両部分の減少額よりも多い。また新聞は2,900万円と、これまたいくらなんでも少なすぎて疑問が残る。

(表3) 書籍、新聞・雑誌の合計額

(単位 百万円)

品名	'87.1-12月 価額	'88.1-12月 価額	前年比	構成比
書籍	21,461	23,143	% 108	% 63
新聞・雑誌	12,339	13,591	110	37
計	33,800	36,734	109	100

(注1) 価格はCIF又はC&Fである。

(注2) 小額貨物の20万円以下は含まれていない。

(注3) 書籍は、現品入荷月の15日までに届出が行われるため、入荷より平均1ヵ月の遅れで計上されている。

(注4) 雑誌は、最終号が到着したと認められる時点において届出が行われるため、初号入荷時よりも約1年遅れで計上されている。

[分析]

1988年は、書籍計で8%アップ、新聞・雑誌で10%アップ、合計で9%アップとまざまざの実績であった。これを(表5)で示す1985年以降の円高と、(表4)に示す過去の推移とを加味して検討してみよう。

1986年の前年比15%ダウンは、前年比加重平均で18%という円高の影響である。'87の21%アップは、前年比6%円高にもかかわらずの増で、'86の15%ダウンを回復するものであるが、'85と比較する限り2%のアップにとどまる。そしてこの'87のアップは、昭和62年度の47億円に及ぶ補正予算の影響が大きい。

'88になって、鎮勢してきたとはいえ引き続いての円高下でありながら、9%アップと2年連続で増加を見たのは、一つには昭和62年度の補正予算による注文の入荷が'88の3月までは続いたためであり、もう一つには世間の好景気の影響も、遅まきながら出てきたためであろう。そのために、円高による価格値下げの分をようやく回復出来たというところであろう。

3 1979~'88年書籍、新聞・雑誌輸入通関統計推移表

(表4)

(単位 百万円)

暦年	書 籍				新聞・雑誌(注)				計			
	価額	前年比	指数		価額	前年比	指数		価額	前年比	指数	
1979	21,982	% 95	100		9,490	% 108	100		31,472	% 99	100	
'80	23,018	105	105		11,242	118	118		34,260	109	109	
'81	19,071	83	87		9,133	81	96		28,204	82	90	
'82	21,285	112	97		11,259	123	119		32,544	115	103	
'83	20,028	94	91		11,130	99	117		31,158	96	99	
'84	20,874	104	95		11,006	99	116		31,880	102	101	
'85	21,897	105	100		11,087	101	117		32,984	103	105	
'86	18,174	83	83		9,837	89	104		28,011	85	89	
'87	21,461	118	98		12,339	125	130		33,800	121	107	
'88	23,143	108	105		13,591	110	143		36,734	109	117	

(注) 1988年から、雑誌に新聞を含めたため、今回の表の1987以前の雑誌欄の数字は、すべて新聞含みの数字に訂正した。

4 円相場推移表 (参考)

(表5) 1985~'88年、輸入統計における米ドル換算のための円相場推移表

(単位 円)

月	1985		1986		1987		1988	
	輸入	前年比 切上率	輸入	前年比 切上率	輸入	前年比 切上率	輸入	前年比 切上率
1月	252.04	△7.8	202.07	19.8	159.01	21.3	126.01	20.8
2月	256.66	△9.7	193.53	24.6	152.70	21.1	128.57	15.8
3月	260.53	△13.9	180.21	30.8	153.47	14.8	128.72	16.1
4月	254.49	△13.1	178.62	29.8	146.97	17.7	125.64	14.5
5月	251.36	△10.5	167.08	33.5	139.91	16.3	124.76	10.8
6月	250.26	△8.1	169.29	32.4	142.58	15.8	125.23	12.2
7月	246.22	△3.2	163.17	33.7	147.81	9.4	131.40	11.1
8月	237.92	2.4	155.04	34.8	150.83	2.7	133.12	11.7
9月	239.20	1.6	154.66	35.3	143.02	7.5	134.21	6.2
10月	221.43	10.2	154.23	30.3	144.59	6.3	132.58	8.3
11月	209.32	14.2	160.34	23.4	138.52	13.6	125.36	9.5
12月	202.60	17.7	162.73	19.7	132.65	18.5	122.21	7.9

(注) 切り上げ率 = $\frac{\text{前年同期} - \text{当年}}{\text{前年同期}} \times 100$

△印は前年同期比切り下げ率

[解説]

為替の変動相場制移行(s48.2.14)に伴って、省令に基づき、税関に提出される輸出入申告書等にかかわる申告価格は、税関長が毎週に公示する相場により円ベースに換算されることになった。

貿易統計は、この輸出入申告書等を基礎資料として集計されている。これに使用された最近4年間の各月毎の円相場のうち、輸入の分の推移が上記の表である。(日本関税協会発行、外国貿易概況、1988.11月号より)

[分析]

この表を通覧すると、前年同月比で円相場が下がった月は、1985.8月以降皆無である。大変長く続いている円相場の上昇傾向であり、出版社価格(外国価格)を基準として考えると、輸入されたものの円価格は円高分だけ低く換算されていることに留意すべきである。

5 1988年1~12月、主要6ヵ国輸入通関統計表

(表6)

書籍

(単位 百万円)

国名	単一シート	辞・事典	その他	計	前年比	構成比
米	61	125	8,403	8,589	110	37
英	28	178	5,686	5,892	102	25
西独	51	13	3,291	3,355	106	15
仏	44	15	947	1,006	120	4
オランダ	1	5	1,032	1,032	101	5
スイス	20		604	624	89	3
小計	205	336	19,963	20,504	106	89
その他	119	91	2,429	2,639	124	11
計	324	427	22,392	23,143	108	100

(注) 上記6ヵ国以外の大口は、香港の815百万円。

(表7)

新聞・雑誌

(単位 百万円)

国名	週4回以上	新聞	雑誌	計	前年比	構成比
米	1,031	10	4,080	5,121	111	38
英	1,149	7	1,587	2,743	133	20
西独	375	3	1,095	1,473	91	11
仏	55		456	511	98	4
オランダ	466		1,390	1,856	104	14
スイス	134		457	591	124	4
小計	3,210	20	9,065	12,295	111	91
その他	146	9	1,141	1,296	102	9
計	3,356	29	10,206	13,591	110	100

(注) 上記6ヵ国に次ぐ大口は、イタリーの492百万円。

(表8)

書籍、新聞・雑誌の合計額

(単位 百万円)

国名	書籍			雑誌			計		
	価額	前年比	構成比	価額	前年比	構成比	価額	前年比	構成比
米	8,589	110	37	5,121	111	38	13,710	110	37
英	5,892	102	25	2,743	133	20	8,635	110	24
西独	3,355	106	15	1,473	91	11	4,828	101	13
仏	1,006	120	4	511	98	4	1,517	112	4
蘭	1,038	101	5	1,856	104	14	2,894	103	8
スイス	624	89	3	591	124	4	1,215	103	3
小計	20,504	106	89	12,295	111	91	32,799	108	89
その他	2,639	124	11	1,296	102	9	3,935	115	11
計	23,143	108	100	13,591	110	100	36,734	109	100

(注) 上記に次ぐ大口は、香港1,020百万円、イタリー729百万円などである。

(注) 上記に次ぐ大口は、香港 1,020 百万円、イタリー 729百万円などである。

6 主要国以外の状況

(表 9) 主要国以外で1988年1～12月に、書籍又は新聞・雑誌のいずれかで1,000万円以上輸入されている国の一覧表

(単位 百万円)

国名	書籍	新聞・雑誌	計	順位
韓国	338	50	388	10
N. KOREA	19	4	23	24
中国	325	80	405	9
台湾	201	9	210	12
香港	815	205	1,020	7
シンガポール	234	111	345	11
インド	24	1	25	23
イラン	10		10	25
スエーデン	17	11	28	22
デンマーク	17	80	97	15
アイルランド	2	37	39	19
ベルギー	39	4	43	18
東独	16	21	37	20
スペイン	87	1	88	16
イタリー	237	492	729	8
ソ連	79	52	131	14
オーストリア	44	118	162	13
カナダ	66	4	70	17
オーストラリア	22	8	30	21

[分析]

1987は15カ国であったものが、'88は19カ国に増えている。また今回は、小額ながらイランという新顔も入ってきた。

韓国、N. KOREA、中国、台湾、香港、シンガポールの近隣6カ国からの輸入計は2,391百万円、前年比121%と増大し、構成比も6.5%となつて、'87の5.2%よりも1.3%シェアを増やしている。

7 1988年1～12月、洋書関連商品の輸入通関統計表

(表10) 洋書関連商品別一覧

(単位 百万円)

品名		1988 価額	前年比
幼児用の絵本及び習画本		510	% 140
楽譜		643	68
地図・海図	地球儀・天球儀	187	104
	製本したもの	33	
	その他のもの	290	109
小計		510	107
葉書		508	140
カレンダー	紙製又は板紙製	750	
	その他のもの	64	
小計		814	116
その他の印刷物	広告、商業用カタログ等	1,023	47
	写真	1,230	271
	絵画・デザイン	4,055	254
	その他のもの	7,498	122
	小計	13,806	134

(注1) 楽譜は、印刷したもの及び手書きのものに限るものとし、製本してあるかないか、又は挿絵を有するか有しないかを問わない。

(注2) 地図、海図その他これに類する図は、製本したもの、壁掛け用のもの、地形図及び地球儀、天球儀その他これらに類するものを含むものとし、印刷したものに限る。

(注3) 葉書は、印刷したもの及び挿絵を有するものに限る。また個人のあいさつ、伝言または通知を印刷したカードを含む。なお、この品目は'87までは「絵葉書、クリスマスカード、その他これらに類する絵入りのカード」となっていた。

(注4) カレンダーは、カレンダーブロックを含むものとし、印刷したものに限る。

[解説]

洋書関連商品とは、輸入統計品目表のうちの第49類、即ち「印刷した書籍、新聞、絵画その他の印刷物……」の中より、書籍、新聞・雑誌以外で洋書業界に関連があると思われるものをピックアップしたもの。

これらの品目は、'87までよりもより細分化され計上されている。

(表11) 洋書関連商品の最近10年間の成長率

(単位 百万円)

品 名	1979	1988	'79 : '88
			%
絵 本	268	510	190
楽 譜	668	643	96
地 球 儀 等	428	187	44
地 図 ・ 海 図	848	323	38
絵 葉 書	95	508	535
カ レ ン ダ ー	603	814	135
写 真	380	1,230	324
絵葉書・デザイン	413	4,055	982
その他の印刷物	3,154	7,498	238

〔分析〕

10年前の1979(s54)に比し、'88の書籍が105%、新聞・雑誌が143%という数字(表4参照)を念頭におきながら(表11)を見ると、それぞれの商品の需要傾向というのが良く見て取れる。

10年前に比較して9.8倍も成長した絵画、デザインは複製、印刷されたもので文章を伴わないものであるが、この現象は日本での生活の余裕が増えたことを示すものであろう。

その他の印刷物のうちのその他のものには、本質的に広告を目的とする出版物や、商業用カタログ、商業団体が出版した年鑑及び観光案内書などを含むが、これらのどこの業界にも属さない、しかもありとあらゆる業界に関係のある分野は、大きなマーケットを持ち、成長もいじりしい。

8 マイクロフィルムと文献情報検索用磁気テープ

(表12) マイクロフィルム

(単位 百万円)

品 名	価 額	前年比
マイクロフィルム	28	新設

〔解説〕

1988より初めてマイクロフィルムの分類が設けられた。'87までは、写真用プレート及びフィルム(映画用フィルムを除く)の中に含まれていたもの。

〔分析〕

マイクロフィルムだけの集計が出来たので期待していたが、意外に少ないのに驚いた。恐らく実態は年間2,800万円というような額ではなく、これの2ないし4倍はあるのではなかろうか。多分マイクロフィルムの分類の新設への対応が追いつかず、少なめになってしまったのであろう。

(表13) 文献情報検索用磁気テープ

(単位 百万円)

品 名	価 額	前年比
「磁気テープ」のうち「幅が6.5ミリを超えるもの」の中で「その他のもの」	3,065	新設

〔解説〕

磁気テープは、'88より輸入統計品目表の第85類の中の「レコード、テープその他の記録用の媒体」の分類の中で、蓄音機用レコードに並び、「磁気テープ」として新設された。文献情報検索用のコンピューターテープは、この中で「幅が6.5ミリを超えるもの」の中での「その他のもの」の項に含まれる。即ち文献検索用磁気テープはこの「その他のもの」のうちの一部である。

〔分析〕

3,065百万円の輸入価額の中では、さすが米国が2,649百万円を占め、86%のシェアを持っている。この分野の先進国である。

9 書籍、新聞・雑誌の輸出通関統計表

(表14) 1988年1～12月輸出通関統計表

(単位 百万円)

分類	品 名	価 額	前年比	構成比
書	単一シートのもの	802	新設	
	辞典及び事典	240	新設	
	その他のもの	27,412	新設	
籍	小 計	28,454	% 99	% 87
新聞・雑誌	一週に4回以上発行するもの	20	新設	
	新 聞	25	49	
	雑誌その他の定期刊行物	4,183	92	
	小 計	4,228	93	
計		32,682	98	13

(注) 輸出も輸入と同じように品目が変更されている。

海外ニュース

〔分析〕

新設の「一週に4回以上発行するもの」は、やはり日本には少なく年間2,000万円であるのは止むを得ないとしても、新聞の2,500万円はいかにも少なすぎる。中でもアメリカ向けは、僅か32万円にしかすぎない。いかにアメリカで日本の新聞が印刷されているとしても、日本の新聞全部が印刷されている訳ではなかろう。奇異な感じを受ける。

(表15) 1984～'88年書籍、新聞雑誌の輸出通関統計推移表
(単位 百万円)

暦年	書 籍			新聞・雑誌			計		
	価 額	前年比	指 数	価 額	前年比	指 数	価 額	前年比	指 数
1984	26,524	129	100	5,864	109	100	32,388	125	100
'85	33,357	126	126	6,007	102	102	39,364	122	122
'86	30,782	92	116	4,704	78	80	35,486	90	110
'87	28,834	94	109	4,570	97	78	33,404	94	103
'88	28,454	99	107	4,228	93	72	32,682	98	101

(表16) 書籍、新聞・雑誌計の輸入と輸出の比率推移表

暦年	1979 (s54)	'84 (s59)	'85 (s60)	'86 (s61)	'87 (s62)	'88 (s63)
輸入	70	50	46	44	50	53
輸出	30	50	54	56	50	47

〔分析〕

10年前の1979には輸入と輸出の比率が、70：30であったものが、輸入は停滞し輸出は急成長して、'84には319億円：324億円と、遂に輸出が輸入を追い越す事態となり、'85にはその差が64億円にも開いた。

ところが'85からの円高で、'86は輸入、輸出双方ともにダウン、'87は輸入が4億円上廻り、'88は遂に53：47と輸入が再逆転するに至った。

即ち円高は輸入、輸出の双方ともに打撃を与えたが、出版物は他の製品のように合理化、コストダウンがきかず、輸入の方が回復してきたにもかかわらず、輸出は3年連続の前年比ダウンが続いている現況である。(終)

「ドッド・ミード社倒産」

創立150年という歴史をもち、バーナード・ショウ、アガサ・クリスチー、ウインストン・チャーチル、ジークムント・フロイト、トルストイなどの出版社として知られるDodd, Mead & Companyが、去る12月ついに破産し、解散の止むなきにいたった。

1839年以来マンハッタンに本社を構え、華やかな出版活動が続けてきた同社は、今では残り少なくなった独立出版社であった。この20年ほどは他のコングロメリット系の出版社に押されて年々ランクは下り、1988年の売上高は7～8百万ドルほどという小出版社になっていた。昨年は、通常の倍の200点ほどを出版したが、その無理がたたったようである。

出版社の買い取り手を探したが見つからず倒産したものである。

(New York Times, PW誌etc.より)

「NI社がコリンズ社を支配下に」

William Collins社の取締役役会は、去る1月5日(木)、News International社の申し入れを受けて、同社の完全な支配下に入るようになった。

このNI社を率いるルパート・マードックは、コリンズ家から1983年に株を買い取るなどしてすでに全株の41.7%を取得し、同社の取締役会の一員となっていた。NI社側はさらに一步進めてコリンズ社を完全に支配すべく、昨年11月に2億9千3百万ポンドで買い取ることを申し入れた。これに対しコリンズ社の現会長イアン・チャップマン氏は頑強に抵抗。フランスのGroup de la Citéが4億3百万ドルで買収を申し出るなどして事態は紛糾した。しかし、NI社側もこのフランスの金額まで値を上げて、どうやら合意にこぎつけた。

(The Bookseller, 1989年1月13日号より)

—(株)紀伊國屋書店提供—

USACO® & CD-ROM

第1回 CD-ROMデータベース国際会議

—CD-ROMデータベースの図書館利用—

海外CD-ROMデータベースの利用現状・問題点・将来展望等について、海外3名(米国2名、英国1名)、日本2名の講演および海外主要CD-ROMデータベース出版社による製品紹介と実演を行います。

開催日時：1989年5月15日(月) 9:10~18:00

開催場所：経団連会館 10階 1001号室(東京都千代田区大手町1-9-4)

主催：ユサコ株式会社

講演者：藤川正信教授(図書館情報大学学長)

殿崎正明氏(日本医科大学図書館)

Ms. Anita Lowry(コロンビア大学、バトラー図書館)

Ms. Barbara Meyers(情報コンサルタント)

Mr. Stewart Ede(英国図書館 British Library) ※同時通訳あり(日↔英)

実演：シルバープラッター社、ケンブリッジ・サイエンティフィック・アブストラクツなど(交渉中)

募集人員：100名

参加費：①大学図書館 ￥30,000(￥25,000)

②大学以外の図書館・情報部門 ￥40,000(￥35,000)

③A,B以外 ￥50,000(￥45,000)

注1) カッコ内の参加費は3月31日迄の申込みに適用致します。

2) いずれも3%の消費税を含みます。

3) ①、②、③は参加区分を示します。

解約：5月1日迄の解約申出の場合、全額返金致します。その後は返金致しません。

申込先：〒105 東京都港区新橋1-13-12 堤ビル

ユサコ株式会社 CD-ROM国際会議係

TEL.(03)502-6471(代) FAX.(03)593-2709

ユサコ取り扱いCD-ROMデータベース例

SilverPlatter社：MEDLINE(医学文献：1966年より)、CHEM-BANK(化学物質毒性)、NTIS(米国研究報告書)、Excerpta Medica(医学文献)、CANCER-CD(癌文献) 他27種

Cambridge Scientific Abstracts：ASFA-CD(水圏科学文献)、CANCERLIT(癌文献)、PDQ(癌治療プロトコル)、Drug Information Source(医薬品情報) 他3種

ISI社：Science Citation Index(科学文献引用)、Social Science Citation Index(社会科学文献引用)

〈問合せ先〉

USACO®

ユサコ株式会社

本社/東京営業所 〒105 東京都港区新橋1丁目13番12号堤ビル TEL.(03)502-6471 FAX.(03)593-2709
大阪営業所 〒530 大阪市北区堂島1丁目2番2号日昭ビル TEL.(06)344-6624 FAX.(06)341-5291
名古屋営業所 〒461 名古屋市中区栄3丁目63番地 TEL.(052)931-2601 FAX.(052)931-9833
筑波営業所 〒300 土浦市富士崎1丁目7番21号和光ビル TEL.(0298)23-1773 FAX.(0298)24-7087

1989年3月 通巻第263号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

〒103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎271-6901 FAX.271-6920

〒530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329